

→ お取引先様との協働によるScope3排出量削減 持続可能なサプライチェーンの構築 人権デューデリジェンス

お取引先様の
Well-Being Life

2030年 KGI

お取引先様とともに創造する
サプライチェーン全体での脱炭素化の実現

私たちは、お取引先様とともに、環境に配慮した製品やサービスの調達等に取り組むと同時に、再生可能エネルギー化、省エネルギー化に取り組み、サプライチェーン全体での脱炭素社会の実現に貢献します。

背景と
当社の考え方

脱炭素社会の実現に向けて、企業は自社の事業活動だけでなく、サプライチェーン上の活動に伴う温室効果ガス排出量も把握・管理することが求められています。また、環境側面からも重要視されるようになっています。JFRグループは、お取引先様と協働し、Scope3排出量削減を目指します。

2030年
KPI

- Scope3*温室効果ガス排出量40%削減を目指す(2017年度比)

*Scope1・2を除くサプライチェーン全体での活動で生じる温室効果ガス排出量

2030年
KPI達成に向けた
取り組み策

- お取引先様との協働による環境マネジメント実施
- 廃棄物削減(食品廃棄物・廃プラスチック)
- お取引先様との協働による物流効率化
- お客様との協働による低排出交通手段の利用促進
- テレワーク推進、出張の見直し

2030年 KGI

お取引先様とともに創造する
サステナブルなサプライチェーンの実現

私たちは、お取引先様とサステナビリティに対する考え方を共有し、共に社会的責任を果たすことを通じて、サプライチェーン全体で持続可能な未来の社会づくりに貢献します。

また、お取引先様とともに、サプライチェーンで働く人々の人権が守られ、健康に働き続けることができる職場環境づくりを実現します。

背景と
当社の考え方

サプライチェーン上で発生する差別や強制労働などの人権問題、新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化は、サプライチェーンに大きな影響を及ぼしています。当社グループは、サプライチェーンに潜むリスクに対応し、持続可能なサプライチェーンの構築を目指しています。

2030年
KPI

- お取引先様行動原則のアセスメント質問票の回収率95%・浸透率100%
- お取引先様と従業員の人権が尊重される事業活動の定着

2030年
KPI達成に向けた
取り組み策

- お取引先様行動原則の遵守状況確認に向けたアセスメントの継続的な実施と対話による改善
- 人権デューデリジェンスの実施と開示
- 人権に関する社内教育の実施